

東急不動産ホールディングス株式会社第26回無担保社債 (サステナビリティ・リンク・ボンド)の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、東急不動産ホールディングス株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本社債」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本社債は環境省の「令和3年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業に係るモデル事例」のモデル事例等として選定されました。また、本社債発行のために策定したサステナビリティ・リンク・ボンドフレームワークについては、株式会社格付投資情報センター、株式会社グリーン・パシフィックおよび株式会社日本格付研究所から、環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020年版」および国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」に適合することが確認されています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集、お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{※1}とパートナー契約を締結しています。その後2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はさまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

※1 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆ドルの債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。